

## 平成28年度 第3回久留米市環境審議会議事録

1. 日 時 平成29年2月1日 水曜日 14時00分開会 15時10分閉会
2. 場 所 市役所本庁舎1303会議室
3. 出席委員
- |     |        |                                |
|-----|--------|--------------------------------|
|     | 井手 信   | 聖マリア学院大学 学院長                   |
|     | 井手 和芳  | 久留米市校区まちづくり連絡協議会 幹事            |
|     | 下濱 正承  | 福岡県北筑後保健福祉環境事務所 環境長            |
|     | 園田 茂   | 久留米三井薬剤師会 常務理事                 |
|     | 高橋 和子  | くるめクリーンパートナー 代表                |
|     | 池鯉鮒 悟  | 久留米工業大学 教授                     |
|     | 富岡 誠司  | 国土交通省 九州地方整備局 筑後川河川事務所<br>事務所長 |
|     | 永松 千枝  | 久留米市女性の会連絡協議会 副会長              |
|     | 藤田 八暉  | 久留米大学 名誉教授                     |
|     | 藤田 眞知子 | 久留米医師会 会員                      |
|     | 山田 佳名子 | 久留米市農業協同組合                     |
|     | 吉永 美佐子 | 高齢者快適生活づくり研究会 代表               |
| 事務局 | 今田 利満  | 環境部部長                          |
|     | 平田 茂   | 環境部次長                          |
|     | 熊本 浩二  | 環境部施設運営担当次長                    |
|     | 江頭 宣昭  | 環境部環境政策課長                      |
|     | 谷川 克幸  | 環境部環境保全課長                      |
|     | 近藤 祖   | 環境部資源循環推進課長                    |
|     | 吉山 修一  | 環境部廃棄物指導課長                     |
|     | 池尻 登   | 久留米市地区環境衛生連合会 会長               |
|     | 最所 美博  | 久留米商工会議所 環境エネルギー委員会 委員長        |
|     | 中寫 裕之  | 久留米工業高等専門学校 生物応用化学科 教授         |
|     | 濱崎 裕子  | 久留米大学 文学部 社会福祉学科 教授            |
|     | 藤田 直子  | 九州大学 大学院 芸術工学研究院 准教授           |



井手副会長 小学校の高学年くらいだと理解できる内容に仕上がっていると思うので、学校の授業で意見を求めるなどすることで「山に行って山をきれいにしよう」など実際の行動に繋げていけたらいいと思います。

藤田会長 そうですね。そういう思いもありまして、案の作成にあたり、検討委員会の委員に小学校の先生にも入っていただき、また、小学校の校長会の協力も得て、小学校の高学年にも理解できる内容を目指してきました。また、小学校の授業で使うにはもう少し子供が興味を持ちやすいものを作成しなければということで、先ほど環境保全課長から紹介のありました啓発冊子を作っています。この啓発冊子は小学校高学年だけではなく一般の大人にも読んでいただけるものと思いますので、井手委員の方でも校区まちづくり連絡協議会で活用していただければと思います。

その他いかがでしょうか。

井手委員 今の啓発冊子の話が出ましたが、生態系、生物多様性というのは分かっているようで分からないものでして、子供の時から教えて、そういった考え方に馴染ませるというのはすばらしいことだと思います。例えば普通は虫を見てもただ見るだけですが、この虫はどういう虫でどんな所にいるなど分かるように子供の時から教えることは重要です。私たちも機会があれば、そういった活動をしていきたいと思いません。

案の内容についてですが、前回の案では「里地里山」について丁寧な説明がありましたが、今回の案ではそれがなくなり、里地里山が大切なことが少し述べられているだけになっています。しかし、子供には里地里山とは何かが分からないと思います。なぜ、里地里山の説明を削ったのでしょうか。パブコメで意見などがあったのでしょうか。

藤田会長 事務局の方、お願いします。

事務局 里地里山という言葉は3ページの「第二の危機」で初めて出てくるのですが、言葉の意味については用語集の中で整理しています。

井手委員 以前の案では里地里山が荒れているということだけでなく、里地里山がどのような流れの中で形成されたのかが紹介されていました。今は全国の里地里山の整備不全により、獣が山から下りてくるなどの被害が出ています。昔はしっかり整備されており、こういった問題は発生しませんでした。そういったことがもっとよく分かる記述があった方がいいのではないかと思います。

藤田会長 ありがとうございます。今回はページ数の制限ということで、事務局の方も苦労したようですが、もっともなご意見でありますので、里地里山とはなんだろうということが分かるようにするための何らかの工夫を事務局の方でお願いいたします。

事務局 1章から3章については、小学校高学年にも分かるように作成しているため、里地里山というのが小学生高学年には分かりにくいだろうと判断しまして、資料編の27ページで説明を行なっています。

井手委員 そういことですか。ありがとうございました。

藤田会長 貴重なご意見ありがとうございました。

その他いかがでしょうか。

富岡委員

全体として非常に分かりやすく纏まっており、いいと思いますが、細かい点について3つほど意見させていただきます。

まず、8ページの一番上の「筑後川のめぐみ」で「4県18市7郡にまたがる」となっていますが、「8郡」の間違いではないかと思えます。確認をお願いします。

2つ目が、同じページの「とても珍しい水域なんだ」で通常時と満ち潮時の模式図がありますが、筑後川でこういった形になることはほとんどないはずですが、誤解されている方も多いと思えますが、川の水が上にあり、海の水が潜り込んだ模式図のような現象は、干満差が小さい河川ならよくありますが、有明海のように干満差が6メートルもある河川だと、上から下まで混ざってしまいます。そのため、筑後川の一般的な塩分濃度分布は、川の断面の上と下で塩分濃度差があるのではなく、河口付近ほど塩分濃度が濃く、上流ほど薄くなっています。ですから、この模式図は、筑後川を正しく理解するという点において誤解を招きかねないので、外していただいた方がいいのではないかと思います。ご一考ください。

事務局

この模式図については、すでに教育委員会の「くるめ学」という冊子で使われており、そこから持ってきた図です。

富岡委員

それでも、我々、河川工学などを多少齧っている者からすると、筑後川などの河川ではこの模式図のようなことは起こっていないというのが常識です。

藤田会長

汽水域の様子を図として示したいという意図で載せられた図かと思えますが、今のようなご意見もあるので、預からせていただき、事務局と調整したいと思えます。

富岡委員

3つ目ですが、14ページのアンケート調査についてですが、久留米市の生物多様性について知っている人の割合は、参考資料13ページの「言葉も意味も知っていた」という回答の割合を持ってきたのだと思えます。県の割合とずいぶん差があるなど県のデータを確認したところ、ホームページによると「内容をよく知っている」と答えた割合は11.5%でした。そもそも、市と県のアンケートでの設問が異なるので、その結果をこのように同列で並べて比較すること自体よろしくないのではないかと思います。もし書くのだとしたら、久留米市のアンケート調査結果だけを使って、「言葉も意味も知っていた」人より「知らなかった」という人が多かったということ挙げて、「知られていない」という結論を導くのが適切ではないかと思えます。いかがでしょうか。

事務局

県の生物多様性地域戦略では、策定されたときの認知度という項目が33%でした。県の目標としてはこの値の平成29年度の目標が45%となっていて、そことの兼ね合いでこの割合は出しました。ご指摘の通り設問が同一ではなく、比べるのが難しいかと思えますが、県と同様に認知度の目標値を設定する値として、久留米市としてはアンケート結果の「言葉も意味も知っていた」を設定し、25.1%から出発してはどうかと思い、記載させていただいています。

藤田会長

今のご意見についても、私の方で預からせていただき、事務局と調整していこうと思えます。

その他、いかがでしょうか。

園田委員 15ページの「目指すくるめの姿」で、3つに色分けされている部分が「将来の山林の姿」だけ右にスペースがあるのはなぜですか。

事務局 最初の方で説明いたしました、音声コードは場所の指定がありますので、全てのページで音声コードが入るように、レイアウトの修正を行なっています。

藤田会長 よろしいでしょうか。  
その他いかがでしょうか。

井手副会長 個人的には、先ほど意見があったように里地里山の説明が抜けたのが気になります。経緯を聞いて、何らかの工夫をすることで妥協するしかないのかと思っていますが。

藤田会長 ありがとうございます。  
皆様、貴重なご意見をありがとうございました。出された意見については私の方でもう一度検討いたしまして、事務局の方と調整したいと思えます。最終的には、会長の方に一任して頂くということでよろしいでしょうか。  
それでは、久留米市生物多様性地域戦略「くるめ生きものプラン（案）」につきましては、そのように対応することでご了承いただいたということにさせていただきます。今後は、案が確定しましたら市長の決裁等の手続き後、計画として策定されることとなります。  
それに先立ち、市民の方に「くるめ生きものプラン」について理解を深めていただくために、シンポジウムを計画しています。そのことにつきまして、事務局の方から説明をお願いします。

#### 事務局（谷川環境保全課長）説明

藤田会長 シンポジウムのチラシの方では「応募者多数の場合は抽選とする」となっていますが、審議会の委員の皆様につきましては、関係者席を用意させていただく予定ですので、関係者席の方でシンポジウムに参加していただければと思います。  
それでは、議題1につきましては、以上で審議を終了させていただきます。次に、議題2「その他」に進めさせていただきます。

#### 議題2 その他

藤田会長 「久留米市災害廃棄物処理計画」を策定するという件について事務局から説明をお願いします。

#### 事務局（熊本施設運営担当次長）説明

藤田会長 ありがとうございます。現在、市役所の関係課で策定チームが編成され、「久留米市災害廃棄物処理計画」の策定に向けて作業が行われているということであります。この件についてご質問等ありますでしょうか。

井手委員 今、市では、防災対策課で防災の見直しを行なおうとしていますよね。それとの関係はどうなっているのでしょうか。

事務局 資料の裏面の位置づけをご覧ください。右下の方に網掛けされているのが本計画

で、その上に防災対策課が所管する久留米市地域防災計画があります。こちらについても、今年度見直しがなされていますので、連携をとりながら計画を策定していくことになっています。

藤田会長 よろしいでしょうか。その他よろしいでしょうか。では、事務局の方で案が作成されましたら、この審議会で報告いただきます。よろしくお願いします。  
それでは、その他に委員の皆様から何かございましたらお願いします。  
山田委員は、この生物多様性地域戦略は農業との関わりも深いので、農協等を通じてこの計画について広めていただけたらと思うのですが、よろしいですか。

山田委員 はい、大丈夫です。

藤田会長 よろしくをお願いします。

高橋委員 今日、お話を色々聞く中で、筑後川河川事務所の富岡委員のお話を聞いて、疑問に思ったのでお尋ねしたいことがあります。自宅で買っているメダカが増えすぎて困っており、川に流そうかと思ったのですが、飼っていたメダカなどを川に流すのはいけないことでしょうか。

富岡委員 メダカも日本の在来のものなら、そこまで大きな問題はないのですが、メダカと称されているものの中には外来種もたくさん存在します。そういった外来種については、問題になるかと思えます。

藤田会長 池鯉鮒委員、いかがですか。

池鯉鮒委員 音声コードを入れるということですが、音声コードの使い方について教えてください。

事務局 携帯やパソコンでソフトをダウンロードすれば、簡単に再生できます。使い方は、QRコードでホームページを見るのに似ています。

池鯉鮒委員 ありがとうございます。

藤田会長 委員の皆様から他に何かご質問等ございますか。よろしいでしょうか。事務局の方はよろしいでしょうか。

## 閉会

藤田会長 それでは、これで本日予定していた議事内容はすべて終了いたしました。円滑な議事進行にご協力いただきましたこと御礼を申し上げます。

なお、今期の環境審議会委員の任期は本年3月末までとなっていますので、今年度の環境審議会の開催はこれで最後になるかと思えます。委員の皆様におかれましては、久留米市の環境をより良くしていくため、引き続きそれぞれの立場でご尽力していただければと祈念しております。

では、これをもちまして、平成28年度第3回の環境審議会を閉会させていただきます。どうもありがとうございました。

以上